



日時:平成22年7月11日(日)13:00-15:00
場所:東北大学川内キャンパス講義棟C305

トークショー 「イメージカフェ」

“通信の仕組みを知って未来へ挑戦しよう”

主催:トークショー実行委員会 後援:電子情報通信学会東北支部

司会 真咲なおこ(ビデオジャーナリスト) オーガナイザー 小粥 幹夫(東北大学 工学部 特任教授)

● 光ファイバの原理と実際 上杉 直 氏

● ケータイのことをもっと知ろう 武内 良男 氏

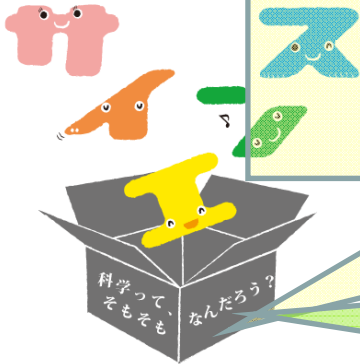
● 大型ディスプレイで感動を伝える 内田 龍男 氏

● 通信ネットワークを使って学習 井上 義比古 氏

<意見交換会> 15:30-16:30

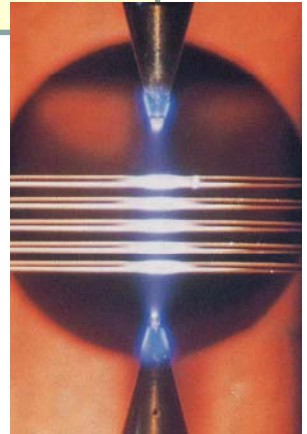
高校の先生を交えて、気づきに加えて関心を深めて学習意欲を高めるために、画像(イメージ)の果たす役割について意見交換します。多数ご参加ください。

サイエンスを五感で感じる・サイエンスで地域が見える
学都仙台宮城 **サイエンスステイ**
科学のプロセスを五感で体験できる科学イベントが仙台・宮城で大集合!!



企業による関連展示 通信を体験!!

- 松島のイルカをのぞいてみよう!
- 携帯電話を安全に楽しく使おう!
- どうして携帯電話はつながるの?
- 光ファイバをつなげてみよう!
- 君も半導体をつくれるかな?



日時:2010年7月11日(日)10:00~17:00 ※交流会18:00~
会場:東北大学川内北キャンパス講義棟 (仙台市青葉区川内41)
対象:子どもから大人までどなたでも
主催:特定非営利活動法人 natural science
後援:東北大学、東北経済産業局、宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会
(社)東北経済連合会、(財)東北産業活性化センター、(独)産業技術総合研究所東北センター、
(社)日本技術士会東北支部、(社)みやぎ産業機構、(社)黎明協会宮城県支部、
宮城県中小企業団体中央会、(財)みやぎ産業振興機構、東北学院大学、東北工業大学、
東北新報社、TBC東北放送、仙台放送、K-43東北放送、仙台放送局、Date fm
読売新聞東北総局、朝日新聞仙台総局、産経新聞東北総局、毎日新聞仙台支局、日刊工業新聞仙台総局

主催:トークショー実行委員会主催 後援:電子情報通信学会東北支部

日時:2010年7月11日(日) 13:00-15:00

場所:東北大学川内キャンパス講義棟C305

トークショー「イメージ カフェ」

“通信のしくみを知って、未来へ挑戦しよう!!”

13:00-13:05 ご挨拶

13:05-13:30 “光ファイバの原理と実際”

上杉 直 氏 東北工業大学 工学部長

13:35-14:00 “けいたいのこと もっと知ろう”

武内 良男 氏 KDDI研究所 執行役員(モバイル・ワイヤレス部門長)

14:05-14:30 “大型ディスプレイで感動を伝えよう”

内田 龍男 氏 仙台高等専門学校校長(前東北大学工学研究科長・工学部長)

14:35-15:00 “通信ネットワークを使って学習しよう”

井上 義比古 氏 東北学院大学教授 学務部長

司会 真咲なおこ ビデオジャーナリスト SHE KNOWS JOURNAL (株)(SKJ) 代表
オーガナイザー 小粥 幹夫 東北大学工学部 情報知能システム総合学科 特任教授

<意見交換会> 15:30-16:30

このトークショーを聴衆頂いた高校の先生から感想を伺った上で、トークショー出演の一部のゲストを加えて、最近の情報通信技術や画像技術の活用が、生徒に気づきを与え関心を高める上で果たす役割について意見交換をします。イメージを受け取る立場からの多数のご意見を期待しています。意見交換会も含めた今回の試みが、「心を通わす」ために電子情報通信分野の技術者の役割を考えるきっかけにできれば幸いです。

オーガナイザーからのメッセージ

私はこの3年間、東北大学工学部情報知能システム総合学科で先生方をお手伝いして、“電気・情報”を学ぶ楽しさを高校生みなさんに伝えてまいりました。本イベントの主催者代表である大草芳江さんとも、科学技術と社会の関係について議論もしてきました。小学生、中学生、そして高校生から保護者みなさんに至るまで広く通信に親しみを持っていただく機会を作りたいと、今回の企画を計画しました。

昨年のノーベル物理学賞は、光ファイバ実用化の先導者のC. Kao博士に授与されたことを思い出す方も多いと思います。今回の体験型展示では、その光ファイバを通して話しかけることを実感していただくとともに、髪の毛の約2倍の太さの光ファイバをサブミクロンの精度で8本同時に接続するデモを見ていただきます。単純な自然現象が高度な技術を支えていることに驚かれることと思います。

こうした体験型展示に加えて、企業の皆様や大学の関係者にも呼び掛けてトークショーを行うこととし、電子情報通信学会に提案して、東北支部から後援を頂くことになりました。体験型展示で親しみを持った技術について、会場の参加者や司会者が、ゲストで登場する専門の先生方に質問をしていただきます。先生方は、東北大学の内田研究室で開発され液晶を用いた大型のディスプレイに映し出される画像を用いて説明します。こうした体験と画像をイメージとして、親しみを持った技術への理解を深めます。これらのイメージは、未来を拓いて自分を創る素材となり、将来への思い（新たなイメージ）と繋がっていくはずです。すなわち想像が創造への第一歩となるのです。

さらに、体験やイメージを家族の団欒の場で広げることで、広く心を通わすきっかけにもなり、“通信”を“通心”に発展させることができるでしょう。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

有志によるトークショー実行委員会 代表 小粥 幹夫

司会者とオーガナイザーの紹介



真咲なおこ(まさき なおこ)

ビデオジャーナリスト SHE KNOWS JOURNAL (SKJ) (株) 代表

日本航空国際線客室乗務員を経てビデオジャーナリストへ。テレビ番組出演を経て、ドキュメンタリー番組「未来検索」(TVK・テレビ大阪ほか)の放送を開始(今年で14年目)。ビデオジャーナル方式で一人称で番組を企画・制作・放送及びネット配信。WEB映像番組 NetRushTV(www.netrush.jp/) RadioJapan(www.radiojapan.jp/)運営。

VIPインタビュー番組では経済・財界TOPインタビュー300名以上取材、制作放送。地域活性化をテーマにUBCLレポート(CATV)番組に出演中。NICTにてブログ執筆中。

東京大学人工物工学研究センター協力研究員。大学非常勤講師。

2001年、2006年 総務省関東総合通信局長表彰受賞、総務大臣表彰U-Japan大賞 ビジネス部門賞受賞

<メッセージ>

このたびはサイエンス・デイ2010開催、大変おめでとうございます。私たちの暮らしを支えるサイエンステクノロジーは、今は当たり前のように浸透し、その恩恵を享受していますがこれまでの多くの人々の努力と、経験、知恵によって生まれてきたものであることは言うまでもありません。そんな多くの人々が長い時間をかけて解明してきた、生きたサイエンスを身近に分かりやすく、伝え広めるお手伝いができればと考えています。今回のイメージ・カフェ(トークショー)を通して、一人でも多くの皆様がサイエンスに夢を感じ、興味を持っていただける糸口になれば幸いです。



小粥 幹夫(おがい みきお)

東北大学 工学部 情報知能システム総合学科 特任教授

電子情報通信学会 フェロー 企画室委員 高校生の啓発活動推進WGリーダー

1970年東京大学工学部電気工学科卒業。同年古河電気工業(株)に入社。ミリ波導波管の開発に従事後、20代で米国電波天文台のVLAプロジェクトに参加。帰国後は光ファイバの実用化、光ファイバ増幅器の開発に従事後、3年前より現職で東日本の120を越える高校を訪問、新しい電気・情報系学科の教育、研究内容を紹介、キャリア教育にも関心深い。自称「創造学研究者」で「想像から創造へ」でイメージの重要性を訴えている。